

議会だより 創刊200号記念特集号

「読ませる」から「読んでもらえる」に

いのちのへ議会だより 200号のあゆみ

議会広報編集委員会 委員長 田中辰也

いのちのへ議会だよりが今号で、昭和43年2月の第1号発行以来、約50年をかけて200号となりました。これまでのあゆみを振り返ります。

◆議会報告メインの紙面構成（創刊時）

創刊号は、昭和42年第13回定例会（12月）を受けて議会事務局が編集し発行されています。B5判12文字44行6段組と非常に詰め込み感が多い紙面でした。全般的に写真などが少なく、文章での「議会報告」の印象が強い時代であったと思われる。

号を重ねるごとに徐々に写真や図表が増え、第16号（昭和46年11月発行）からは、B5判15文字42行5段組に様式が改められました。

◆柔らかみのある、親しまれる紙面へ

第59号（昭和57年10月発行）からは、編集を一戸町議会広報委員会が行い、第60号（昭和58年2月発行）から



創刊号

は紙面を刷新し、表題を行書体から丸ゴシックに変更し、またB5判15文字33行5段組へと変更し、写真や図表を多用するなど、柔らかみのある紙面へと変わってきています。

◆シリーズ連載企画など読まれる紙面へ
シリーズ連載として「思い出の写真」（127号～133号）、「御所野遺跡」（156号～158号）、「町の文化財」（159号～170号）、「北海道・北東北の縄文遺跡群」（171号～185号）、「希望郷いわて国体」（187号～198号）などを掲載しました。今後とも議会活動に関心をもっていただけるよう、町民の皆様に読んでいただける紙面を目指していきます。



「思い出の写真」（第128号）

あとがき

◆今年は昭和32年11月に旧一戸町・小島村・鳥海村・浪打村・姉帯村の1町4村が合併し、新一戸町が誕生して60年の節目の年です。

▼時を同じくして「いのちのへ議会だより」も昭和43年2月に第1号を発行して以来、今号で200号となりました。

▼この度そのあゆみを振り返り、時々の編集の工夫を垣間見たような気がします。

▼今後も、町民の皆様にあえられる「いのちのへ議会だより」となるよう、委員一同編集に努めてまいります。

議会広報編集委員会
委員長 田中辰也



いのちのへ No.199
2017.4.28
議会だより 岩手県一戸町議会



3月定例会
一般会計当初予算 78億3400万円 2
議員定数2人削減し14人に 10
町の未来を問う 一般質問5氏が登壇 13
第1回いのちのへ未来議会開催 18

2月13日、第1回いのちのへ未来議会(中学生議会)が開催されました。(詳細は18ページへ)

6月定例会・5月臨時会

第二公設クリニック新築工事着工へ 4

町の未来を問う 一般質問3氏が登壇 7

いのちのへ議会だより発行200号特集 14

発行責任者／一戸町議会議長
編集／一戸町議会広報編集委員会

〒028-5311 岩手県二戸郡一戸町高善寺字大川24-9
TEL (0195) 33-2111 FAX (0195) 33-4070
E-mail: gika@town.ichinohe.iwate.jp

6月定例会



就農移住体験住宅を整備

元園芸試験場官舎を「就農移住体験住宅」に改修します

6月定例会を6月8日から14日まで7日間の日程で開催しました。定例会では、報告4件、議案3件が提案され、審議の結果、すべて原案のとおり可決・承認しました。

一般質問では、3人が町政の諸課題についていただきました。請願・陳情（新規4件）は、常任委員会での審査を経て3件を採択、1件を継続審査とし、意見書3件を国に提出しました。

補正予算

▼一般会計補正予算（第2号）

7721万7千円を増額し、総額を79億6240万円とするものです。

主な事業は左の表のとおりです。

一般会計補正予算（第2号）の主な事業

（単位：万円）

就農移住体験住宅改修事業	1690
ICT（※1）活用学習支援委託料	970
ICT活用学習環境整備工事費	616
一戸駅愛称看板等設置工事費負担金	120
コミュニティ助成事業費補助金	490
来田保養センター屋根塗装工事費	235
地域林政アドバイザー事業	243
県営急傾斜地崩壊対策事業費負担金	440
岩瀬橋他改修工事詳細設計委託料	270
子育て支援住宅用地取得費	418
小鳥谷小学校スクールバス車庫改修工事費	212

物品購入

▼消防ポンプ自動車

購入先 株岩野商会
購入金額 2030万4千円

配備先 2-2（野田）

▼除雪ドーザー

購入先 コマツ岩手株二戸営業所
購入金額 1782万円

※1 ICT 情報処理・情報通信分野の関連技術の総称。

報告 経営状況報告ほか

▼経営状況報告

㈱一戸夢ファーム
一般社団法人 小鳥谷診療所

条例改正 議会委員会条例

▼議会委員会条例の一部改正

議員定数削減に伴い、常任委員会の委員定数を改定し、新たに広報広聴常任委員会を設置するものです。

質疑応答

問

急傾斜地崩壊対策事業、場所は

県営急傾斜地崩壊対策事業の対象地域と、全体の事業費をお知らせください。

答

対象地域は、北館地区の神明神社の傾斜地です。平成28年度から事業化されているところです。

全体の事業費は概算で5600万円です。

問

ICT活用学習支援事業の内容は

ICT活用学習支援事業の対象者と内容を伺います。

答

小中学生を対象としています。

また、内容については学力向上を第一に考えて、教材を選定します。

問

ICT活用学習 高校生も対象に

小中学生対象ということですが、高校生に對してもこのような環境を整える必要があると考えますが、見解を伺います。

答

一戸町で暮らす子どもたちの学習支援という意味で、将来的には高校生まで対象にしたいと考えています。

問

ICT活用学習 指導方法は

指導方法は、どのようにするのか伺います。

答

最初は指導員を外部から招いて指導してもらう方向で考えています。

問

就農移住体験住宅改修、内容は

改修工事の内容を伺います。

答

この事業は、地方創生拠点整備交付金で行うものです。事業申請を短期間で行わなければならなかったため、具体的な改修内容については、これから検討していくこととなります。

国保事業勘定特別会計（第1号）

平成28年度国保特別会計が歳入不足となることから、29年度歳入の繰上充用を行います。

※2 繰上充用

会計年度が経過した後に歳入が不足した場合、翌年度の歳入でその不足分を補てんすること。



経営が安定してきた小鳥谷診療所



第二公設クリニック新築工事現場（一戸字向町地内）

5月臨時会を5月22日に開催しました。
報告7件、議案1件が提案され、審議の結果、すべて原案のとおり可決・承認しました。

工事請負契約
第二公設クリニック

工事の名称
第二公設クリニック新築工事
工事の場所
一戸字向町地内
契約金額
1億4104万8千円
契約の相手方
（株）田中建設

条例改正
国保税軽減要件緩和など

▼町税条例の一部改正
軽自動車税のグリーン化特例による税額の軽減措置を2年間延長するほか、国民健康保険税の低所得者の軽減措置に係る所得基準を引き上げるなどの改正をするものです。



第二公設クリニック外観イメージ図

▼過疎地域における固定資産税の課税免除に関する条例の一部改正
課税免除対象業種の変更および課税免除の適用期間を平成31年3月31日まで2年間延長するものです。

▼復興産業集積区域における固定資産税の課税免除に関する条例の一部改正
課税免除の適用期間を平成33年3月31日まで4年間延長するものです。

▼農村地域工業導入促進対策審議会条例の一部改正
産業課が農林課と商工観光課の2課体制になったことに伴うものです。

報告

事業繰越ほか

▼事業繰越

29事業を29年度に繰り越しました。

主な事業

- ・旧堀口邸改修事業
- ・萬代館附属建物改修事業
- ・奥中山高原センターハウス改修事業
- ・中山間地域所得向上支援対策事業
- ・畜産競争力強化対策整備事業
- ・町道一本松高森出ル町線道路改良事業
- ・笹目子橋撤去事業
- ・道地下橋橋梁改修事業
- ・農地・農業用施設災害復旧事業
- ・公共土木施設災害復旧事業

▼事故繰越し（※）

奥中山中学校屋内運動場耐力度調査事業を29年度に再度繰り越しました。

▼一般会計補正予算（第7号）（平成28年度分・専決処分）
2億8367万5千円を増額し、総額8億8117万5千円となりました。（額確定によるもの。）

質疑応答

問 国保税軽減措置該当世帯数は

国保税の軽減措置の要件が緩和されたようですが、該当世帯数を伺います。

答

平成28年度にあてはめて考えると8世帯14人が該当となります。

問 耐力度調査の繰越の理由は

奥中山中学校屋内運動場耐力度調査事業が29年度に再度繰り越されましたが、その理由を伺います。

答

業務着手後、1月下旬から2月上旬にかけて、見込みを上回る積雪があったために必要な現地調査を行うことができず、履行期限内に完了できないことから、29年度に繰り越したものです。

問 役場組織改編の理由は

産業課を農林課と商工観光課の2課体制にした理由を伺います。

答

昨年度までは、広い意味で産業分野ということで農林部門と商工観光部門を一緒にしていました。しかし、各分野とも

問 建築・電気工事一括発注の理由は

第二公設クリニック新築工事において、建築工事と電気設備工事を一括して発注していますが、その理由を伺います。

答

電気設備工事と機械設備工事が工事費全体の中で比較的割合が少なかったことと、一括発注した方



食堂などを改修するセンターハウス

が、工事施工管理上も同一業者の施工ということで工事施工がよりスムーズに行くこともあり一括発注にしたものです。

問 第二公設クリニック開業予定は

第二公設クリニックの開業はいつ頃になりますか。

答

工期は11月10日までです。備品の納入や、医師・看護師の準備期間も考えて来年1月開業予定で進めています。

平成29年第2回一戸町議会定例会 議決結果一覧

番号	件名	赤	柴	峠	赤	熊	上	中	田	山	土	駒	川	菅	野	上	田	関連ページ
		屋敷	田	正	勇	一	栄	春	辰	正	昭	二	敦	子	博	文	繁	
報告	第3号	欠	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	3
	第4号	欠	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	3
議案	第1号	欠	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	2
	第2号	欠	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	2
	第3号	欠	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	2
請願	第25号	欠	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	10
	第26号	欠	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	10
	第27号	欠	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	10
陳情	第18号	欠	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	10
発議案	第1号	欠	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	3
	第2号	欠	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	10
	第3号	欠	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	11
	第4号	欠	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	11

平成29年第1回一戸町議会臨時会 議決結果一覧

番号	件名	赤	柴	峠	赤	熊	上	中	田	山	土	駒	川	菅	野	上	田	関連ページ
		屋敷	田	正	勇	一	栄	春	辰	正	昭	二	敦	子	博	文	繁	
報告	第3号	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	—	4
	第4号	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	—	4
議案	第5号	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	—	4
	第6号	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	—	4
	第7号	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	—	5
議案	第1号	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	—	4

表の見方：「○」は賛成、「●」は反対、「欠」は欠席、「—」は採決に加わらなかったことを表します。
田村議長は賛否が同数などの場合にのみ採決に参加します。これ以外は採決に参加しません。

通告者

菅野敦子 議員
峠勇男 議員
田中辰也 議員



菅野敦子 議員

国保制度

運営変更の影響は

大きな影響はない

質問 町が運営している国民健康保険は、来年4月からは県の運営になります。均等割と平等割や、税の滞納者に対する罰則規定など、町民への影響を伺います。

町長 平成30年度から国保事業は、県が財政運営の責任主体となり、市町村とともに運営することになります。

均等割、平等割については県内一律の保険税率決定するものではなく、市町村が賦課方式と保険税率を決定します。当町では現行の所得割、資産割、平等割、均等割により算定

次に、国保税の滞納者に対する短期被保険者証の交付は、徴収業務も町で行いますので引き続き短期被保険者証は交付します。

また、県の運営による町民への影響は、保険税率については今年11月に示される予定の標準保険税率などを参考に、議会に提案します。

資格適用業務、給付事業、保健事業などはそのまま継続して町で行うことから、当面は大きな影響はないと考えています。

次期学習指導要領内容は

外国語教育の充実など

小中学校

質問 平成32年度以降の次期学習指導要領を円滑に進めるため、移行措置も発表されましたが、その内容を伺います。

外国語教育の充実、などです。小学校で外国語活動を3、4年から始め、英語を5、6年で教科化します。これによって、3年から6年まで授業時間が過当たり1時間の増となり、小学校の外国語指導者の確保と時間割編成が課題となります。

教育長 次期学習指導要領の主な改善事項は、①言語能力の確実な育成、②情報活用能力の育成、③理数教育の充実、④伝統や文化に関する教育の充実、⑤体験活動の充実、⑥

次に、教職員の勤務状況ですが、「時間外勤務時間」および「持ち帰り時間」は、月平均で小学校43時間、中学校58時間です。平均80時間超の職員数は12人となっています。



A L Tによる英語の授業



峠 勇男 議員

農業振興

果樹園芸の振興策は

ブランド力を高める

質問 果樹園芸農家が著しく減少してきていますが、果樹園芸技術の継承を含めた振興策について伺います。

町長 果樹園芸農家は、平成17年度の調査時点では102経営体あったものが、現在で



果樹園芸農家が減少しています

は（平成27年農業センサスでは55戸）約半分に減少しています。

果樹園芸の特性として苗木を植えてから収穫までの未収益期間が長いことに加え、機械化が困難で人手が多くなっています。また、樹園地のほとんどが傾

斜地のなかにあり、現行の従業者が高齢化により、重労働に耐えられなくなってきたためです。これらが大きな原因だと考えています。

現在ある生産基盤や、これまで果樹農家が蓄積してきた、貴重な技術が失われることを危惧しているところです。果樹園芸振興の刺激策のひとつとして行った、サクランボ収穫体験ツアーの受け入れのように、消費者にPRすることで産地としての認識とブランド力を高めながら、果樹園芸の先細りを少しでも食い止めたいたいと考えています。

地域振興

地域おこし協力隊進捗状況は

再募集に向けて準備中

質問 地域おこし協力隊の制度導入についての考えと取り組みの状況について伺います。

町長 これまでの取り組みとして、町産食材を活用した新商品の開発や料理教室などを通じて地域の活性化を図るために募集を行ったところですが、残念ながら応募はありませんでした。

この制度を活用することで、世界文化遺産に登録された後の御所野縄文遺跡をはじめとする町の観光資源の磨

き上げや、内外に向けてPR活動を行ってもらうことで地域活性化を図るうえで有効だと考えています。

また、児童生徒を対象とした学力向上や、体力向上のための野外活動の企画など、子どもの健全な心身の発達につながる分野についても検討することで、町の子育て支援を深化させることができると考えています。



景観条例の適用拡大を

現地調査し、拡大を検討



田中辰也 議員

景観保全



伐採された奥州街道沿いの林地（火行）

質問 国指定文化財の奥州街道沿いの山林が大規模に伐採され、景観が損なわれている場所があります。景観保全のため景観条例の適用拡大を検討してはいかがでしょうか。

町長 奥州街道周辺地域は、奥州街道沿いの山林が一般景観地域となっています。この場合、木竹など伐採行為の届出義務はありません。そのため、残念ながら奥州街道周辺地まで皆伐されたものです。

各地域にある指定文化財の周辺を調査しながら、木竹などの伐採行為の届出義務が生じる特定景観地域の拡大について検討していきます。特に文化財周辺など、環境保全が必要な地域は、定期的に指定文化財の巡回を行い、今回のような景観条例の対象とならない行為についても、景観への配慮や植林の協力を強く求めることで、景観の保全が図られるよう努めます。

ICT教育

タブレットなど活用した教育を

効果を検証し、導入を検討

質問 タブレット端末などを利用した教育の導入を検討しているかがですか。

教育長 ICT教育環境の充実は今や教育の現場において必要不可欠です。次期学習指導要領における主要な項目である「主体的・対話的で深い学び」の視点からもICTの効果的活用が重要であると考えます。

タブレットの導入には校内無線LANの整備が必要となります。費用もかかるため、段階的な導入になります。が、モデル校を選定することも視野に入れて検討します。



電子黒板を利用した授業の様子

このほかに「町政運営の今後について」も質問しました。

請願・意見書

今期定例会には請願3件、陳情1件が提出され、委員会審査の後、本会議で3件を採択、1件を継続審査としました。
また、議員発議された意見書3件は、ともに可決され、関係機関に提出されました。

請願審査

◎安全・安心の医療・介護実現と夜勤交替制労働の改善を求める請願
(総務教育民生常任委員会)

▼審査内容

今日の高齢化社会において、医療や介護現場における人手不足は深刻な問題であり、またそのことにより労働環境も悪化していることから、早急に対応すべきと判断し、「採択」としました。

◎教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための、2018年度政府予算に係る意見書採択の要請について
(総務教育民生常任委員会)

▼審査内容

この法案は、今国会に提出され審議中ではありますが、法案の中身についての議論が十分であり、国民の理解も得られていないことから、さらなる議論

▼審査内容

教職員の長時間労働が日常化している状況では、児童生徒にも悪影響がおよぶと考えられ、早急に是正が必要です。

陳情審査

◎子守歩道橋の塗装塗り替え工事委託に関する陳情(産業建設常任委員会)



経年劣化が進んでいる子守歩道橋

▼審査内容

当該歩道橋は竣工後長年経過していることから、塗膜の劣化および鋼材の腐食が著しく進行しています。御所野遺跡の世界文化遺産登録の実現に向けて取り組んでいる中、周辺の景観に配慮した補修などの対応を行う必要がある、と判断してい

意見書

◎安全・安心の医療・介護実現と夜勤交替制労働の改善を求める意見書

▼要望事項

①医師・看護師・医療技術職・介護職などの夜勤交替制労働者の労働環境を改善すること。
②安全・安心の医療・介護を実現するため、医師・看護師・医療技術職・介護職を増員すること。また、地域偏在を解消すること。
③患者・利用者の自己負担を減らすこと。

○教職員定数の改善及び義務教育費国庫負担制度拡充を求める意見書

▼要望事項

①計画的な教職員定数改善を推進すること。
②教育の機会均等と水準の維持向上をはかるため、義務教育費国庫負担制度の負担割合を2分の1に還元すること。

○「テロ等準備罪」(共謀罪)創設について慎重な審議を求める意見書

▼要望事項

「テロ等準備罪」は個人の内心や思想そのものを処罰対象にしようとするもので、現刑法の基本原則に反しており、国民に不安をもたらしています。この不安を払拭するような丁寧な説明と、慎重な審議を強く求めます。



挨拶をする鈴木俊一世界遺産登録推進議員連盟会長

「北海道・北東北の縄文遺跡群」世界遺産登録推進

総決起大会に参加

4月26日、「北海道・北東北の縄文遺跡群」世界遺産登録推進総決起大会が、東京都「衆議院第1議員会館」で開催されました。
国会議員連盟所属議員、道県知事・市町長・議会議員、道県市町関係者ら約250名が参加し、当議会からも正・副議長ほか議員12名が参加しました。
大会では、国会議員連盟会長、各道県知事からの挨拶に続き、函館市内の中学生が意見発表を行いました。
その後、縄文遺跡群世界遺産登録推進本部長が合同要望書を読み上げ、閉会しました。

議長などが議会を代表し対外的な行事などへ出席する際の経費です。4月～6月の執行状況をお知らせします。

◎平成29年4月～6月執行状況

区分	4月	5月	6月
祝金	5件 25,000円	11件 75,000円	8件 43,000円
会費	3件 15,000円	1件 3,000円	1件 4,000円
見舞金	—	—	1件 3,000円
弔慰金	1件 5,000円	1件 5,000円	1件 5,000円
接遇	—	—	1件 14,500円

※交際費の主な分類

祝金	慶事、式典、祝賀会、各種懇親会等の祝金など
会費	慶事、各種懇談会等の会費
見舞金	病気、入院等の見舞金
弔慰金	香典など
接遇	視察来訪等の賄い、視察先へのお土産など

議長交際費

一戸町議会

一戸町議会のページ

議会中継



町ホームページのトップページ右下

議会傍聴・議会中継をご利用ください

9月定例会は9月上旬開会予定です。
議会傍聴と町ホームページでの議会中継のライブとオンデマンドをぜひご利用ください。

<http://www.town.ichinohe.iwate.jp/> 議会中継をクリック!

人口減少社会へ果敢に挑戦！

～石川県白山市・能登町～

議会では6月28日～30日の3日間にわたり、石川県白山市・能登町において、人口減少社会に果敢に挑戦している、先進事例を視察研修しました。

石川県白山市は、県都金沢市の南西部に位置し、平成17年の合併により富山・岐阜・福井の各県に接する面積約755km²、人口約11万人の市です。中心部はベクトタウンとして発展するものの、白山麓は過疎化が進み、広大な市域で人口の偏在など様々な課題を抱えています。

今回は「空き家対策と定住促進支援」と「学校図書館支援センター」について視察研修しました。

空き家対策 空き家バンクと 有者への啓発

平成22年に過疎化の進む白山ろく地域（旧5村）を対象に空き家調査を実施し、24年8月に空き家バンク制度を導入しました。

同年に市内空き家で火災が発生したことから、25年に「空き家対策室」を設置し空き家対策に着手しました。町内会と連携し実態調査を実施し、平成28年3月に「空き家等対策計画」を策定しました。



白山市定住促進PRパンフレット

活用できる空き家は、転売や賃借などができる「空き家バンク」に登録し、活用を図っていました。また全市民および市外在住の家屋などの所有者へ「空き家対策パンフレット」を配布し、啓発をしていました。

定住促進支援 転入者増へ多様な 対策を実施

定住促進支援策としては、①定住促進奨励金（住宅新築に最大80万円）②若年層同奨励金（45歳以下に最大30万円）③白山ろく同奨励金（白山ろくの場合最大100万円）④中古住宅購入補助（最大30万円）⑤三世代同居・近居補助（購入・増改築に最大45万円）⑥新婚夫婦家賃助成（月5千円を1年間）など様々な施策を実施し、転入増加に貢献していました。

学校図書館 市立図書館を核とし た学校図書館支援

市内には28の小中学校があり、水曜日に学校から収集し、金曜日に学校へ配送する、学校図書配送制度を実施していました。各小中学校には学校司書が配置され、学校での指導と、毎月1回学校司書と指導主事・市図書館支援担当・支援センターも入った司書部会を開催していました。



昼休みに学校図書館を利用する中学生

また、学校での授業の資料準備のほかに、児童生徒の調べ学習の支援をするなどしていました。

市では、夏休み期間を利用して、市内の児童生徒に対し、学校図書館もしくは市立図書館を利用した「図書館を利用した調べ学習コンクール」を開催しています。応募者が年々増加しており、児童生徒の主体的な学びの環境を整えていました。

石川県能登町は、能登半島中部の富山湾に面し、平成17年に2町1村が合併して誕生した面積約273km²、人口約1万6千人の町です。町内には北陸有数の縄文遺跡である「真脇遺跡」があるなど、当町と共通点が多い町です。

今回は「能登高校魅力化プロジェクト」と「地域おこし協力隊の活用」について視察研修しました。

魅力化プロジェクト 町全体で高校を 支援

市内にあった高校3校1分校が平成21年に統合され県立能登高校が開校しました。

当初4学級160名の募集定員は、志願者の減少により28年度から80名に削減され、存続の危機にありました。



タブレットを使って学ぶ生徒（まちなか鳳雛塾）

高校選択において、上級校進学の実績が大きな判断材料となっており、それを補完するため、26年より「能登高校を応援する会」が高校内に「鳳雛塾」を設置し、生徒の学習支援を行いました。

しかし、校内での塾運営には限界があり、「能登高校魅力化プロジェクト」を立ち上げました。その中心が、「まちなか鳳雛塾」です。校内の塾はそのまま残し街中に設置した



担当者の説明を聴く視察団

町営の塾です。結果としては、今春の国公立大合格者5名となり、例年1～2名と比べ増加しました。また、入学生も定員の84%と前年より上昇しました。

応援する会は、町内外から会員を募り、塾の運営のほかに、高校生に対し、制服購入支援・部活動支援・通学支援・国立大学入学金支援・給付型奨学金支援など実施しています。

地域おこし協力隊 任期後も約半数が 町内に定住

平成26年度からこれまで7名を採用し、現在3名の隊員が活躍中とのことです。活動内容は観光企画・移住相談・外国人誘客・商品開発など多様ですが、現在活動中の3名は鳳雛塾の学習指導にあたりています。

定住している隊員の

なぞの環状木柱列が 結ぶ縁 真脇遺跡

能登町には、縄文前期から晩期にかけて約4千年にわたって、継続的に営まれてきた、北陸有数の集落遺跡である「真脇遺跡」があります。

晩期の地層からは、栗の木を半分に割り円状に並べた環状木柱列があります。これは東北にはない、北陸地方に特徴的な遺物です。



復元された環状木柱列

この復元にあたり、町境の葛巻町側から栗の木19本を運んだそうです。

50年のあゆみを礎に

次の歴史を重ねてゆく

昭和43年2月に「一戸町議会だより」第1号を発行して以来、今号で200号を数えることとなりました。

これまでの「いちのへ議会だより」のあゆみを議会・町の歴史とともに振り返ります。



第60号



創刊号

議会の動き

昭和32年12月
新町議30名が当選
議長 朴館喜三郎氏
(昭和36年12月まで)

昭和36年12月

議長 上里太一郎氏
(昭和49年3月まで)

昭和49年3月

上里議長死亡により
議長 小笠原義顕氏
(昭和52年12月まで)

昭和52年12月

昭和52年12月
議長 菅原文治氏
(昭和55年7月まで)

昭和55年7月

正副議長辞任により
議長 東山重雄氏
(昭和56年12月まで)

昭和56年12月

議長 菅原文治氏
(昭和59年3月まで)

昭和59年3月

議員定数を22名に改正

昭和55年5月
第50号発行

昭和57年10月
議会広報委員会が編集
(第59号)

昭和58年2月
B5・15字33行5段に変更

昭和60年11月
町長に稲葉暉氏

昭和58年11月
一戸バイパス開通

昭和53年11月
町民文化センター・
体育館新築落成

昭和49年4月
現庁舎新築落成

昭和48年11月
町長に中野清見氏

昭和48年10月
稲葉佐吉町長が死亡

昭和36年12月
町長に稲葉佐吉氏

昭和32年12月
新町長に日影館喜助氏

昭和32年11月
1町4村合併により
「新一戸町」誕生

議会だよりの
あゆみ

町の
出来事



第97号(特選受賞)

平成元年12月
議長 小野寺研一氏
(平成9年12月まで)

平成3年5月(95号)
「いちのへ議会だより」とし、
A4・15字35行5段2色刷り

平成4年2月

県広報コンクール特選(97号)

平成4年7月
第100号発行

平成6年2月

県広報コンクール入選
(105号)



第156号

平成元年9月
八戸自動車道
一戸～安代開通

平成9年12月
議長 佐々木康綱氏
(平成13年12月まで)

平成12年5月
A4・12字34行6段に変更
平成17年2月
第150号発行

平成14年4月
御所野縄文博物館開館

平成13年12月
議長 中谷勲氏
(平成17年12月まで)
議員定数を18名に改正

平成18年8月
A4・11字30行6段に変更
表紙全面写真
(159号カラー)

平成14年7月
一戸町コミュニティセンター・
図書館新築落成

平成17年12月

議長 田村繁幸氏(現職)

議員定数を16名に改正

平成27年4月

A4・10字30行6段に変更

平成29年7月
第200号発行

平成29年12月
広報広聴常任委員会設置
(広報編集を担当)

平成28年10月

希望郷いわて国体なぎなた競技会開催
町出身選手が少年女子演技の部で優勝



第184号